

意見陳述

池田 三男

2019年1月7日、友人から「地元が部落探訪に載っているよ」と言われ、ネットを検索して見てみるとその通りでした。

示現舎のホームページの中、「部落探訪(106)」として、地域内の写真21枚が掲載され、集会所が二か所、表札、自動車のナンバー、会社の看板、墓地、産廃の投棄された場所などが写されていました。説明文もあり、「〇〇という名字が多い」、「産廃が不法投棄されている」などと、記載された名字が部落民かのように晒し、産廃—不法投棄という悪いイメージを拡散しているものでした。私の自宅も複数の写真に写っていました。私はこれを見て大きな憤りを覚えました。これは何とかしなくてはならないと思い、同年4月の地元の会議で実情を報告しました。

その後、県内各地で「部落探訪」にさらされる被差別部落が相次ぎ、部落解放同盟埼玉県連でも議題に上がり、これをそのまま放置しておくわけにはいかない、という結論になり、削除のための裁判を起こすことになりました。

私の地元でも、支部員があつまり、話し合いを持ちました。参加者は、口々に「これはひどい」、「何とかしなければ」という声が上がりました。しかし個人原告として裁判を闘うことには、一様に躊躇がありました。なぜならば、原告になることによって、自分が被差別部落出身であることが知られ、家族などが差別されることが危惧されるからです。実際、私も提訴の後、他県で暮らす子供から連絡があり、「勤め先に知られることが心配である」と懸念が示されました。様々な議論がありましたが、誰かが原告にならないと、裁判を起こせず、今の状態が放置されたままになることから、支部長である私が原告になることにしました。

埼玉では2023年12月6日に私と部落解放同盟埼玉県連が原告となり、その時点で埼玉県内で「部落探訪」に掲載された記事全部の削除を求める裁判を提訴しました。

第2回目の口頭弁論は6月26日に行われましたが、一審被告は2日後の6月28日に再び私の地元を訪れ、私の近所に住む人に会って情報を聞き出しました。その日はまた、すぐ近くの行田市の被差別部落に行き、その後、グーグルの地図にその地域の被差別部落に多いとする名字のすべての家を落とし込んで公開しました。さらに8月2日には地元の公民館に一審被告の支持者とみられる年配の男性が現れ、「〇〇(私)の家はどこにあるのか、ここから何メートルくらいあるのか、集会所はどこにあるのか」と尋ねています。このような嫌がらせとしか思えない行為が続き、我が家では「インターホン」を設置せざるを得ませ

んでした。

2025年12月17日のさいたま地方裁判所での一審判決では「動画に出ている埼玉県内のすべて28の記事の削除を命じる」ものでした。この判決は、一審被告の行為について「被差別部落及び被差別部落に関連する人々に対する差別意識を増幅又は助長する」ものであり、「差別意識を煽る目的をもってした行為である」と強い違法性があると認めるもので、「全国部落調査」復刻版出版差し止め裁判で東京高裁が2023年に出した「出版禁止」「差別されない権利」を踏襲する画期的なものでした。私の地元でも大きな喜びをもって迎えられました。

しかしながら一審被告は、判決後も「部落探訪」（現在は「曲輪クエスト」）をネット上に掲載し続け、その数は益々増え続けています。埼玉県内では地元の首長などが、法務局に削除要請しても削除はされず、そのままの状態であるうえ、提訴後も増え続け、2026年6月現在、埼玉県内28市町49か所の被差別部落がさらされ続けています。熊谷市でもその後6か所がさらされています。

そういった中で、2025年12月3日には、一審判決で対象とならなかった地区の13の記事の差し止めを求め、地元住民8人と埼玉県連が原告となり、第2次「部落探訪」削除裁判をさいたま地裁に提訴しました。しかし一審被告は、これに挑戦するかのように、2026年になって私の地元熊谷市内の被差別部落3か所の記事を新たに掲載しています。このままでは地元住民は厳しい差別の中、いつこの情報が悪用され部落差別に会うのか、安心して暮らしていけない状態です。とりわけ、現在のIT社会の中で、インターネットやスマホは多くの子どももが使用しています。誰もがみられる状態に差別情報がさらされている現状は、許しがたいものです。これについては一審判決でも「インターネットには、情報の流通性、拡散性、永続性のほか、投稿やアクセスの容易性といった特性が認められる」と認定しています。

さいたま地裁の判決は全ての地区について差し止めを認めた点で正しい判断をしてくれたものと思います。高裁でもこの判断が維持され「部落探訪」にさらされている全国各地の被差別部落の動画・写真が早期に削除されることを強く願っています。また、二度とこのような行為ができないような「法律」の制定も期待しています。